

2025年1月12日

「イエスの受洗」

マタイによる福音書 3:13-17

早川 真牧師

今朝与えられた聖書の箇所には、私たちの救い主であるイエス・キリストが洗礼を受けられた時のことが記されています。ヨハネは人々に洗礼を授けるために神から遣わされた者ではありませんが、イエスが自分のところに来るのを見て「これでは逆ではないか」と思ったに違いありません。私が、あなたのところに行くべきであるのに、あなたがわたしのところへ来られたのですか。と言いました。しかしイエスは、「今は、止めないでほしい。正しいことをすべて行うのは、我々にふさわしいことです。」と言われました。この時のイエスにとってヨハネから洗礼を受けることは正しいことでした。なぜなら、これから公の活動を始めにあたってイエスはその最初の歩みをこれからの歩みの基礎とする必要があったからです。

イエスにとって洗礼を受けるということはこれからの地上での生涯の歩みを表すものでした。それはイエスご自身が神の子でありながら、私たちのところに来られ、私たちの罪を背負い、十字架にかかり、復活することを通して救いの道を開くという歩みです。イエスには告白するような罪も悔い改めるような過ちも何一つありませんでした。それでも洗礼を受けられたのは、イエスが罪ある私たちと共に身を置いてくださったということです。

神の愛が分からず、罪ととがのために迷い、神のもとに行くことのできなかつた私たちのために、イエス・キリストが私たちのところにきてくださいました。そして永遠に私たちと共にいてくださる新しい歩みへと招いておられます。この神の恵みに共に生かされてまいりたいと思います。